



ISO9001認証

この度の新型コロナウイルスによって、大きな影響を受けられた理美容室、理美容師の皆様にご心より、お見舞い申し上げます。

薬用ニードブルスパで、頭皮も心もリフレッシュ!!

春先は気温や湿度の急激な変化でフケやかゆみなどの頭皮トラブルが増えがちです。それに加え、現在は外出自粛の影響もあって、普段より疲れやストレスを感じている方がとても多いようです。そんな中、サロン様から薬用ニードブルスパを使ったスパメニューがお客様への頭皮の「環境改善」と「気分転換」にととても好評だという声が寄せられています。
“ニードブルスパ”は全アイテム『効果・効能』が謳える薬用化粧品であり、また脳科学の観点から脳が喜ぶ安らぎと癒しを与えてくれるヘッドスパの為だけに作られた製品です。
サロンでのマッサージを取り入れた本格的な施術はもちろん、ハーブの香りに包まれ、爽快感のある仕上がりはホームケアとしてもお勧めです。ニードブルスパは、化粧品のカテゴリーでは謳えない効果・効能と脳科学に基づいた本当の癒しをお客様に提供します。

薬用 ニードブルスパとは

化粧品と「薬用」化粧品では同じヘッドスパでも「効果・効能」が全く違います。お客様も、どのような効果があるのか分からない製品を使われるより、効果・効能がハッキリ分かり、美容師さんが自信を持って勧めてくれる製品を求めています。薬用ニードブルスパは、厳しい基準をクリアして開発をされた、全アイテム効果・効能が謳える薬用化粧品。ヘアケアの新習慣として、お客様に提案してはいかがでしょうか。

■お客様の心を掴む“ニードブルスパ”の特徴

- ・頭皮トラブルの改善に期待が持てる。
- ・最先端の脳科学の応用で、香りだけでも癒される。
- ・頭皮を沈静化させることができる。
- ・髪にも頭皮にも優しく、マッサージに向いている。

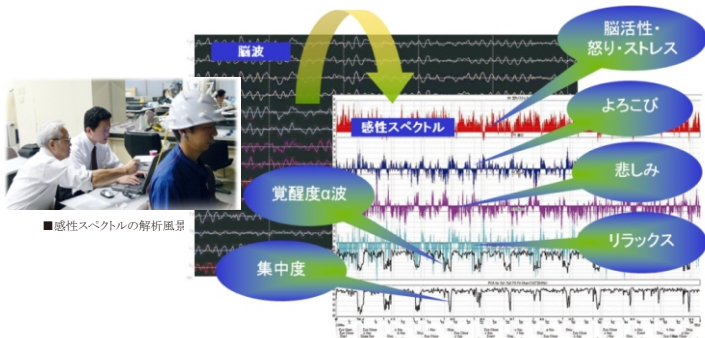


■数値が示す高いリラクゼーション効果

これまでのヘッドスパ技術では、お客様が本当に気持ちがいいのか、本当にリラックスができているのかなどお客様の満足度を測る指標がありませんでした。しかし、ヌーフットでは脳波からココロを読み取る「感性スペクトル解析」で感情を数値化したことによって、どの成分や香りが人に喜びを与え、哀しみが減らせるのかを解明しました。ニードブルスパにはそのような脳科学の観点から、施術する美容師さんもお客様も共に癒され、リラックスのできるハーブの香りをつけられています。

■感性スペクトル解析

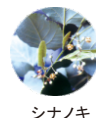
脳波を特殊なアルゴリズムのソフトで解析し、脳波の中から、心に生じた「怒り・ストレス」、「よろこび」、「悲しみ」、「リラックス」という感性状態と「覚醒度」、「集中力」を数値化します。このシステムは、東工大名誉教授 武者利光博士が1990年代半ばに、当時社会問題となっていた過労死、突然死を予防するために精神的なストレスをモニターする技術として開発されたものです。



ローズマリー



アオノリ



シナノキ

■脳が喜ぶハーブの香り

薬用 ニーダブルSPAは 全7アイテム

基本アイテム



薬用HSシャンプー



薬用HS
コンディショナー



薬用カームフィニッシュ
(鎮静化)



薬用プレクレンズ



薬用エマルジョン
クレンズ



薬用オイル
クレンズ



薬用アクティベーター
(活性化)

■ ニーダブルSPAアイテムの効果・効能

フケ、かゆみの抑制 / 毛髪に潤いを与える / 頭皮を健やか、清潔に保つ / 汗臭の防止

■ 少ないアイテムでも抜群の効果

応用アイテムを組み合わせで、お客様に合わせたワンランク上のメニューが構築できます。

1STEP



2STEP



3STEP



髪の毛の汚れを洗い流したあと、

- ①薬用スキャルプシャンプーでプレシャンプー。
- ②薬用スキャルプコンディショナー。
- ③カームフィニッシュで頭皮の沈静化。

※ニーダブルSPAでは、各工程で揉捻、軽擦、指圧などマッサージを行うと、さらにリラクゼーション効果を高めます。

効果・効能を持った薬用ニーダブルSPAには、特別な技術は必要ありません。今までのシャンプー技術を応用するだけで、すぐに本格的なヘッドSPAが始められます。

品管だよりNo.5 ヒューマンエラーを無くせ！

株式会社ヌースフィット
主任研究員 見坊啓子

現場でのヒューマンエラーを少しでも減らすため、社員教育を行っています。エラーがおきる要因を自分たちの仕事に当てはめて説明し、起きないようにするにはどうしたらいいかを一緒に考えます。ゼロにはならないかもしれませんがゼロに近づけることはできるはずです。

ヒューマンエラー防止法

- 柔軟性を減らす
作業の多様性を減らす
例外作業を減らす
- 効率性を減らす
作業時間を多く取る
- 創造的対応力を伸ばす
危険の気づき
安全側に向けた判断

ヒューマンエラーのヒューマンファクター

1. いつもと違うことをする時は要注意
2. 同じボタンが壊く時は思い込みが原因
3. 思い込みはすでにあなたの中にある
4. 大丈夫というときは特に目に向く
5. 粉らわいものは見間違え

6. 整理整頓でエラー防止
7. 後ではできむだかできない
8. 後でやむためには手がかりを作る
9. ゆくりやむ → エラーが減る
10. 同時にたくさんことには注意していない
⇒同時にできる量には限りがある

11. 注意が向かないものは見えていない
12. 不安も注意を奪う
13. 能力の高い人はプレッシャーに強い
14. 不安は暑くと消える
15. 同じ事に注意を向け続けられない